

2017  
4月  
第66号

かい 陽  
**海 陽**  
公民館報



平成28年度 海陽町公民館大会



お盆の慰霊踊り（穴喰公民館）

# 平成28年度 海陽町公民館大会

テーマ：「輪っはっは 話ッハッハ 和っはっは」  
～語り合おう！誰もが笑顔になる未来に向けて～



やすのぶ  
大橋育順氏

3月5日(日)海南文化館において、「輪っはっは 話ッハッハ 和っはっは」一語り合おう！誰もが笑顔になる未来に向けて一を大会テーマに町内の公民館関係者をはじめ、多くの方が集まりました。辻公民館長、前田町長の挨拶の後、徳島県教育委員会教育文化課係長兼社会教育主事の<sup>やすのぶ</sup>大橋育順氏による講演が「記録誌・石碑から学ぶ南海地震」と題して行われました。講演では、先人の残した碑から災害教訓を読み取り、それを後世へと引き継いでいくこと、災害時には地域社会の中でみんなの助け合いが大切になるので、日頃の地

域社会の関わりが重要であることを学びました。

講演後、海南小学校児童2名、穴喰中学校生徒2名、海部高校生徒2名、徳島文理大学生2名、浅川の古本直士<sup>ただお</sup>さん、穴喰の田井晴代さんによるパネルディスカッションが行われました。

防災・減災を実現するための活動の流れとして、①掘り起こす(調べる)、②伝える、③知る、④生かす(備える)、⑤回復する(復興する)という5つのことを確認した上で、それぞれの取り組みの発表を行いました。

海南小学校は、避難訓練をはじめとして、避難所巡りなど様々な防災体験活動を行い、そして、多くのことを学び取っていると発表しました。

穴喰中学校は、避難体験・救助体験・防災オリエンテーリングなどを通じて防災意識を高めていると発表しました。

海部高校は、防災ハンドブックの作成、防災士との共同活動など多様な活動を通じて、地域の防災リーダーになるための意識を高めていると発表しました。

文理大学は、「シロのない海」の映像化をはじめ、大学生が今どのように防災に取り組んでいるか具体的に説明しました。

古本さんは、自らが浅川で遭遇した南海大地震津波のことを経験者でしか語れないことばで教訓を込めて話されました。

田井さんは、震潮記にまつわることを中心に、一人ひとりが過去の教訓を学び、備えることの大切さを話されました。その後、「防災・減災を実現する上で足りない



コーディネーター  
佐藤和久さん

ところ・弱点は何だろう？」をテーマに語り合いました。

- ・「備える活動でまだできていないところがたくさんある」
- ・「避難した後の人権的な配慮を考えておくことが大切」
- ・「地域によってそれぞれ条件が違う、どのような条件でも対応できる準備が必要」
- ・「津波から逃げ遅れた最終避難者への対策が不十分」

などそれぞれの立場から意見が出されました。災害や防災について改めてみんなで考える良い機会となりました。

また、午後から公民館交流芸能大会が行われ、地域の皆さんによる各種芸能が披露されました。文化館のロビーには公民館の活動写真の展示、人権啓発パネル展・海陽町内小学校人権啓発ポスターの展示、防災パネルの展示が行われました。



田井晴代さん



ただお 岡本直士さん



海南小学校



栄喰中学校



海部高校



徳島文理大学



パネラーの方々



交流  
芸術大会



レクダンス (穴喰)



踊り (海南)



フラダンス (海部)



民踊 (川上)



民踊 (浅川)



歌唱と踊り (海南)



民踊 (海部)



民踊 (穴喰)



童謡 (穴喰)



# 劇団わらび座『風の又三郎』

2月25日(土)午後2時から海南文化館ホールで、宝くじ文化公演 劇団わらび座『風の又三郎』が開演されました。町内外から約400人が集まり、宮沢賢治の代表作を基にダイナミックに繰り広げられる歌や踊りを楽しみました。出演者は、歌に加えて和太鼓、尺八、フルート、オカリナなどの演奏も披露しました。来場者は、迫力ある演技と音楽に魅了されました。



このイベントは、宝くじ社会貢献広報事業の一環として実施しています。  
 一般財団法人 自治総合センター

宝くじの収益金は、  
 学校、図書館等の教育施設の整備をはじめ、公園、社会福祉施設等の建設  
 改修など、皆様の日常生活に役立つように使われています。



# 「人権力」ですみよい町に！ 部落の歴史を考える③

社会教育指導員 佐藤和久

部落の歴史第3回目です。今回は、明治以降の部落の歴史について考えてみます。

## 解放令と差別

明治時代になって、身分差別を解消するために出されたのが「解放令」（明治4年）です。「賤民廃止令」とも言われています。江戸時代ずっと続いてきた身分の違いと名称をなくそうとしたのがこの法令です。「解放令」は、一般的には身分差

別をなくし部落解放を目的とした法令のように捉えられています。

ところが、事情は少し異なるようです。政府は対外施策として、殖産興業・徴兵制・地租改正などを推進めようとしてきました。そこで問題になったのが身分制です。身分制があることで、それらの計画がうまくいかないことに気づいたので、特に地租改正に関して、全ての民衆から地税を徴収するためには、身分制が存在することが妨げとなりま

した。そのため、形だけ身分制を廃止することに踏み切りました。根本的な差別解消をねらいとした法令でなかったため、世の中は混



乱し「解放令」に反対する一揆が起こったり、生活の場で「ケガレ」を理由にした差別が一段と厳しくなります。

## 部落の経済力の変化と国の政策

江戸時代の部落は経済的に豊かなところが多かったと以前書きました。それは、皮革産業による収益が多かったということが大きな要因であったわけですが、解放令が出され、明治の中頃から状況は一変します。部落内の格差が拡大し、多くの人たちが貧困化していきま

す。それはなぜだったのでしょうか。原因について、いくつかのことが複合していると考えられますが、主

なものをも三つほどあげてみます。

まず一つは、部落から皮革産業の特権が奪われたこととです。解放令が出されるまで、皮革産業は部落の人たちに与えられた特権でした。皮革産業が暮らしの基盤であった人々にとって、その特権が失われたことは大きなダメージとなりました。

二つめに、「松方デフレ」という問題があります。「松方デフレ」とは、明治初期の大蔵大臣松方正義がインフレを抑えるために紙幣回収などを行い、物価を下げたことです。この政策により税金が2倍以上にふくれあがり、多くの民衆が貧困化したというものです。特に部落の人たちが一番打撃を受けたと言われています。三つめに、差別による就

労の困難さがあげられます。

日清戦争後、日本は工業化が進みました。当時の労働実態は、2年以内に職場を変わるいわゆる「渡り職工」と呼ばれる人がたくさんいました。転職が頻繁に行われていたということです。ところが、第一次大戦後、

企業は雇用形態を終身雇用制に転換します。終身雇用制を実施するため、企業は採用で身元調査を行うようになったのです。このことで、部落の人々は差別され低賃金など条件の悪い職業に就かざるをえない状況に追い込まれました。

昭和に入っても目立った改善は見られず、戦争なども影響して部落の環境は益々悪化していきます。このよ

やく対策に乗り出し、昭和44年の同和対策事業特別措置法をはじめとしていくつ

かの措置法が施行されます。これら一連の法律により住環境などハード面の改善は見られました。しかしながら、差別事象をはじめ職業問題など多くの課題が今もなお残されています。

以上、3回にわたり部落の歴史を考えてきました。初めに書きましたが、私たちはこれまで辿ってきた差別の歴史を振り返らないと、自らのおかしさや不合理さに気づかないところがあります。そのような意味で、現代においても部落の歴史・差別の歴史を知ることが欠かせないことだと思います。

昨年12月、残された課題解決に向けて新たに「部落差別解消推進法」が施行さ

れました。この法律の意図を実現するためにも、そして、より良い社会を築くために、私たちは過去の歴史から真実を学び、そこから得たものを意識や行動の中に生かしていく必要があるのではないのでしょうか。

主な参考文献

『続・これでわかった! 部落の歴史』

上杉 聡

『差別と迷信』

住本 健次

『部落史の再発見』

部落解放研究所



# 第11回海陽町新春ふれあい駅伝

1月15日(日) 於：蛇王運動公園



今年は天候も良く、85チーム(「一部」小学生男子23チーム、小学生女子10チーム、中高生女子9チーム、「二部」中高生男子17チーム、一般24チーム、オープン2チーム)が参加して開催されました。

1区・5区は2.5km、2区・4区は2km、3区1.5kmでそれぞれ日頃の練習の成果を競い合いました。選手の皆さん、お世話をして下さったスタッフの皆さん、お疲れ様でした。

## 【団体表彰】

### 【1部】

#### ○ 小学生男子の部

	チーム名	タイム
第1位	相生クラブ A	42.37
第2位	海南ホーンズ男子 A	42.42
第3位	F u n F C A	43.44

#### ○ 小学生女子の部

	チーム名	タイム
第1位	穴喰杉の子 A	45.07
第2位	牟岐体操クラブ A	50.24
第3位	牟岐体操クラブ B	50.38



#### ○ 中・高生女子の部

	チーム名	タイム
第1位	海陽中学校バスケットボール部	44.41
第2位	海陽中バレー部	45.22
第3位	牟岐中ゲッター	46.08



### 【2部】

#### ○ 中・高生男子の部

	チーム名	タイム
第1位	海部高校	37.19
第2位	走れエロス	37.42
第3位	日和佐中学校駅伝部 A	38.25

#### ○ 一般の部

	チーム名	タイム
第1位	海陽陸上クラブ	36.22
第2位	大塚ワジキカロリーメイツ(チョコ味)	40.43
第3位	由岐体協陸上部 A	41.03



【区間賞】

【1部】

○ 小学生男子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	海南ホーンズ男子A	谷口 漸	9.35
第2区	相生クラブA	竹内巧輝	7.43
第3区	日和佐バロンズB	天野 慧	6.22
第4区	海南ホーンズ男子A	藤澤勇翔	8.21
第5区	F u n F C A	小山真輝	9.19

○ 小学生女子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	穴喰杉の子A	重田沙紀	10.27
第2区	穴喰杉の子A	村上比奈子	8.31
第3区	穴喰杉の子A	芝田穂果	6.44
第4区	牟岐体操クラブA	住登希成	8.51
第5区	穴喰杉の子A	戎田夏子	9.51



○ 中・高生女子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	海陽中バレー部	山田 穂加	9.17
第2区	海陽中学校バスケットボール部	山岡 詩月	8.22
第3区	牟岐中ゲッター	森 愛葉	6.57
第4区	海陽中学校バスケットボール部	岸本佳奈	8.21
第5区	海陽中学校バスケットボール部	長尾由子	10.12

【2部】

○ 一般の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	海陽陸上クラブ	祖川昌也	7.55
第2区	海陽陸上クラブ	土壁茂喜	7.34
第3区	海陽陸上クラブ	山田和人	5.20
第4区	海陽陸上クラブ	猪谷 敏	7.21
第5区	海陽陸上クラブ	西沢 輝	8.27

○ 中・高生男子の部

	チーム名	氏名	タイム
第1区	走れエロス	丸澤竜也	7.46
第2区	走れエロス	岡本純平	6.34
第3区	海部高校	大城尚己	5.19
第4区	走れエロス	海部登生	6.57
第5区	走れエロス	田中翔磨	7:57

第43回企画展関連イベント

「野根山二十三士が歩いた道を歩く～阿波篇～」レポート

【日程】1月22日(日) 13:00～17:00 開催

今回のイベントでは、野根山二十三士の足跡をたどり、海陽町穴喰～牟岐町を巡りました。

当日は、お天気にも恵まれ、総勢41名もの多くの方々に参加をいただきました。

ルートは、海陽町穴喰の古目番所(関所)跡、塩深神子屋敷地区の旧山道、尾崎地区、願行寺、川口番所跡(穴喰戎神社前)、牟岐町では、八幡神社、生田家、海蔵寺へ行き、最後は海陽町立博物館で企画展を観覧しました。

講師には、高知県安芸郡東洋町野根の郷土史家・原田英祐氏をお招きし、歴史ファンや幕末好きの皆さんには大満足の機会となったことと思います。

続編として、高知県の関連地や野根山街道の一部を歩いて楽しむ「土佐篇」も、今年の秋頃に予定しています。どうぞご期待ください。

海陽町地域おこし協力隊 島田 佳香

●野根山二十三士事件とは？

1864(元治元)年、全国的に尊王攘夷運動が衰退していた時期に、藩論を尊王攘夷に統一すること、武市瑞山(半平太)(吉田東洋暗殺の嫌疑により投獄された土佐勤王党党首)ら勤王の志士を救出すること等を強硬に主張する、清岡道之助を首領とする高知県東部安芸郡の二十三人の志士たちが、野根山を登って土佐から阿波へ越境(今でいう脱藩)した事件。



◀出発の様子。博物館ボランティア「さざなみ」の会の方がスタッフを務めて下さいました。



▶塩深神子屋敷地区の旧山道にて、郷土史家原田英祐氏が解説。



川口番所跡(穴喰 戎神社前)



牟岐 八幡神社



願行寺



海蔵寺境内



博物館展示室で解説する原田氏



生田家前

**第12回 海陽町文化協会祭** 会場：阿波海南文化村

**作品展示** 5月3日(水)～5月7日(日)

絵画 写真 書道 水墨画 俳句 川柳 絵手紙 押し花 等



**芸能発表**

5月14日(日) 午後1時00分～

カラオケ 民謡 日舞 阿波踊り 琴 三味線 合唱 ダンス 詩吟 詩舞 等

**体験教室…5月6日(土)・7日(日)** (AM10:00～PM3:00)

押し花体験教室(マグネット・ストラップ・押し花はがき等) 料金/材料費 100円～



**飼い主が留守にしている時**  
愛する家族たちは一体何をしているのだろう  
ニューヨークで繰り広げられる、ペットたちの笑い、感動と絆のアドベンチャー

物語の舞台はニューヨーク。マックスは、大好きな飼い主、クイティと自由な生活を送っていた。

しかし、クイティが暮らすビル内の大型犬マックスを保護者から遠ざけてきた無愛想なマックスの近所は、お気に入りのラッシュや、ある日、多岐のトラブルに巻き込まれ、町の中心部へと送られていく。

**クイティ** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティは、マックスの大好きな飼い主。マックスと一緒に暮らすのが大好き。

**マックス** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**ボリス** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**クラウチ** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**タイベリアス** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**ノーマン** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**ボップス** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**クロエ** (声優:ケイシー・ソーン) 飼い主のクイティと一緒に暮らすのが大好きな、ニューヨークの大型犬。

**同じアパートに住む仲間たちは**  
2匹を救うべく、未知なる大冒険へ!

やがて2匹はニューヨークの地下水域にたどり着く。そこには、スノーボール軍団の領地が待ち構えている。果たして、彼らの目的とは!?

**スノーボール** (声優:ケイシー・ソーン) ある日、スノーボール軍団の領地にたどり着く。

**そして、2匹の運命は…?**

**入場無料** どなたでもお誘い合わせのうえ、お越し下さい。 **字幕入り**

日時・5月5日(金・祝)  
①10:00～11:35 ②14:00～15:35

場所・海南文化館ホール

主催/海陽町教育委員会 お問い合わせ/TEL 0884-73-3100





初心者向けのビーズ教室を開講します。初めての方向のための、ビーズ作りの基本を学ぶ講座です。となたでも作れる、優しいアットホームなビーズ教室を心がけております。お気軽にお問い合わせください。

**目 時** 6月10日(土) 2カ月に1回程度開催予定  
午前9時30分～(時間厳守)

**集合場所** 阿波海南文化村 工芸館

**参加者数** 定員20名(先着順)

初回はパールネックレスと  
リングを作ります！



**材料代** 2,600円

◇ **申込先** ◇ 参加申込書に必要事項を記入し文化館窓口にご提出いただくか、(FAX. 73-3833)、または下記の内容を海陽町教育委員会まで(TEL. 73-3100)ご連絡下さい。

**1. 住所 2. 氏名 3. 連絡先**

◇ **締切日** ◇ 4月28日(金) 午後5時まで

主催 海陽町教育委員会

【ビーズ教室申込書】

切り取り線

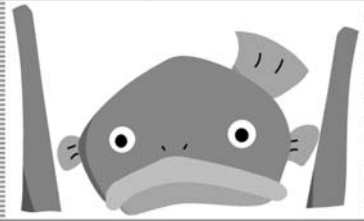
住所

フリガナ  
氏名

電話番号

海陽町立博物館に  
お宝の分が新しく  
仲間入りしたよ！  
**お名前大募集！**

※応募は、博物館にある応募用紙  
にご記入ください。  
募集は6月25日まで。



平成29年4月29日(土・祝)

▼  
平成29年6月25日(日)

# 海陽のお宝 母川のオオウナギ展

平成27・28年度の最新調査結果と  
まちのオオウナギ博士(故川内清明氏)に  
スポットをあてます。

場所：海陽町立博物館 企画展示室  
主催・お問合せ先：海陽町立博物館  
TEL 0884-73-4080

開館時間：9：00～17：00(入館は16：30まで)  
休館日：月曜日(祝日の場合その翌日)

【関連イベント】

場所：海南陽文化館 大会議室

●5月13日(土) 13:30～14:00

「母川のオオウナギについて一町民の視点から」  
報告者：博物館ボランティア「さざなみ」の会

会長 岡澤祖一氏

●同日 14:00～15:30「調査報告会」

報告者：徳島県立博物館 自然課長 佐藤陽一氏

海陽町出身の  
アーティスト  
または作品



## 漁具

今年のテーマは  
アートと  
ものづくり  
です！

博物館ボランティア  
「さざなみ」の会  
プロデュース☆



海陽町立博物館主催

## 海陽と わが家のお宝展

～まちの匠の再発見～  
展示品大募集!!

たくみ  
匠の技を持つ  
職人  
※人でも作品でもOK



【募集期間】

平成29年5月31日(水)まで

「お宝」をお持ちの方、  
情報をお持ちの方は、  
まず下記までお電話  
ください。

【企画展開催日程】

平成29年7月15日(土)～

8月13日(日)(予定)

※博物館への直接のお持ち込みは  
ご遠慮ください。

海陽町立博物館

TEL 0884-73-4080

休館日：月曜(ただし祝日の場合その翌日)

開館時間：9：00～17：00

きょうどしよく  
郷土色  
豊かな  
作品

こっとうひん  
骨董品

## 民具



等々...

海陽町にゆかりが  
あればOK

### 穴喰俳句 二月

風花や校舎の窓に笑ひ声	寺崎照代
初日の出雲の間からこんには	石崎りんか <small>(小)</small>
淋しさも佳きかな夫婦年新た	朝賀ます美
日向ぼこ隣の猫が横にいて	陸田ヨネ子
初明かり海染め山染め吾を染め	外山千佳
残雪や京都の街をぞろぞろと	梅田千恵子
ありのまま生きていきます初詣	山本球子
ここだけの話は無理ねおでん鍋	新井久実
拍手のひびく境内初詣	元木栄子
初日差す入江の船に大漁旗	川野佳代
綾取りの梯子つくりて春隣	長岡達江
シャッター街寒月光の折れる音	新井駿也
初日記天気を書いてペンを置く	樽井みつ子
洛中を行き交ふ異人春時雨	元木朱子
紅梅や老後のプラン聞かれても	間戸谷恵子
焚火せり汚職の記事のめらめらと	木下野生

### 海南俳句

立春の厨明るく水の音	廣瀬克子
ひよいと来てふくら雀の枝ゆるる	田中たち子
寒の月肩触れ合つて影二つ	吉田保則
縁側は猫の天下ぞ冬ぬくし	新居利之
冬靄やそろり踏み出す鳥の足	谷 律子
野水仙無口を通す男の子	津川須美江
早春の土に命の動くあり	山本達平
逃れ来る難民想う寒の月	北川 花
長汀のみなまで見えず朝霞	武知陸子
生活にリズムのできて一月尽	叶岡陽二
老梅の半身生きて花芽吹く	岳山祐弘
寒月や山村物音一つなく	鍛冶崎郁夫
こんこんとけん玉の音春隣	谷口洋根子
若潮を溢れんばかり夢汲みて	平道はつ子
路地裏の庭に梅楚々と咲き	森口豊子
落の臺天地返し <small>の</small> 土匂う	橋本幸子

### 海部ひまわり俳句

春一番小僧の涙吹き飛ばせ	津田 一
子に抱かれ門出づ遺影冬深し	西本公明
ゆりかごに似た居場所なり日向ぼこ	榎原礼子
紅梅の匂うがまを吊り上げて	南 歌子
寒き朝「おいでよ」ひと声特急は行く	松田嘉子
櫻咲く日々愛おしむ我が余生	元木美枝子
月光や霧が霧呼ぶ霧の海	佐藤美代子
春の土立派な角持つやぎ家族	穴戸道子
永き日にわとりを追いかけている	岡 育代
お茶の席桜餅にて一服す	川野照美
折れし葉も添えて一輪水仙花	福田敦子
秋暁や海へぬかづく重機群	佐藤 蔦子
五円無くし十円参り初詣	穴戸保夫

Orion above  
 Earthbound dreams walk frozen paths  
 One candle burning 関山無門

〈意訳〉  
 オリオンや 凍てた道行く 夢灯り

### 海南短歌会

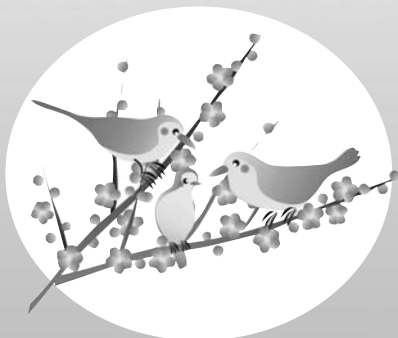
アルバムを繰りつつ偲ぶ爽やかに笑みいし兄の老後はあらず 土谷 公代  
 川の面に水の輪残してかいつぶり潜り泳ぎて十尋のむこう 桑村 未貴子  
 乾きゆく干し柿三個を大鷲のふいに飛びきて食みてゆきたり 細野 綾子  
 くちもとを少しつぼめてみどり児はもの言いたげに我を見つめる 蛭子 美恵子  
 凍てつける朝に白梅咲き初めし香にさそわれて頬を寄せゆく 大久保 スエ子

### 穴喰短歌会

生き継ぎて苦渋の沁みる今宵なり割かれてなお喘ぐ魚の眼 大黒 千枝美  
 風立てば落葉のさけぶ音のしてわが夢淡く空流れゆく 石井 町子  
 苦も楽も真白き菊に装われて病みいしことを思ふ杳き日 山崎 千栄子  
 霜枯れに雀ひと群餌を求め怯えつつなおもいそいと食む 桑野 亀乃  
 年重ねみな老いてゆくわびしさに風は冷たく春待ちおりぬ 舛谷 恂子  
 犬散歩三角ベースの子らの声弾む公園うらら春の日 三野 みよ子  
 愛宕山を「助命山」として日々われは津波避難の訓練をする 田井 晴代

### 網代川柳二月句会より

送られて寂しさ胸に汽車に乗る 井上 可楽  
 親歸る送る握手の手が温い 石垣 小道  
 呼んで来る友と絆をいやす老い 黒岩 一平  
 万歩計共に疲労の深呼吸 太田 一洋  
 金でなく心を積んだ助け船 高木 柳月  
 吠えまくるトランプ平和ボケこわす 中村 あかり  
 同じ事言つて笑つて元気です 福岡 純山  
 風呂谷いずみ 風呂谷 いずみ



トピック

## 震潮記



2004年のスマトラ島沖地震、2011年3月11日の東日本大震災による「津波」は世界中を震撼させた。戦慄を走らせる映像が脳裏に焼き付いたままの人も多いだろう。将来海陽町で起こる恐れがある南海トラフ地震は、家屋倒壊など地震による被害だけではない。瞬く間に大津波がやってきて何もかもを流すことになるであろう。

津波が来る範囲などを記す防災マップは、科学的な見解だけで作られているのではないことはご存知だろうか。『震潮記』という江戸時代に起きた地震・津波の被害状況を克明に記録した古文書も参考にされている。「子孫に二度と同じ轍を踏ますまい」と、強い思いが端々からしみ出たこの『震潮記』は、海陽町だけではなく世界にとっても貴重な資料だ。